

1面のコラム「<sup>しゃめん</sup>斜面」を読もう

斜面

2022.2.1

ネットの動画から目を背けたくなった。「イタイ、イヤ」。悲鳴を楽しむかのように日本人の従業員がベトナム人の男性を事務所で何度も蹴っている。トラックの荷台にいれば棒でたたく。車内でも隣から肘鉄を何度も食らわせる◆岡山市の建設会社で技能実習生が複数の日本人に暴行される場面だ。1月に

地元の山陽新聞が特報した。「ひひひ」「ははは」。動画から笑い声も聞こえてくる。撮影したという別の実習生だろうか。迎合しなければ、自分までやられると思っただのか…◆暴行は2年に及び、骨折もした。足を鋭利な工具で刺されたとも訴えている。仲介した監理団体に相談したが改善せず、市外の労組が保護した。補償と謝罪を求めて交渉中だ。「人間として扱ってもらえなかった」と同紙に話している。労組は他にも実習生を保護しているという◆「人権侵害は決してあってはならない」と古川禎久法相は言う。ならば「実習」を隠れみのにして労働力を安価に搾取すること自体が人権侵害だ。母国からの送り出しにも不正な金銭が絡み、それも本人の借金に。本紙も「五色のメビウス」で詳報した◆米国はきょうを「自由の日」とする。157年前、リンカーンが憲法に基づく奴隷廃止に署名した日だ。今なお人種差別と闘う米国。日本は「奴隷労働」と非難され、人権を守れぬ制度を今日も手放そうとしない。受け入れ先の問題にすり替えていては、やがて世界の労働者が目を背ける。

斜面

2022.2.3

「わたしのせんせいはてつぼうを／10かいさせます／せんせいは／いつかおもやりません」。小学1年生の鋭い指摘

に担任だった鹿島和夫さんは苦笑しただろう。家で詩を書いて先生に渡す「あのね帳」は子どもが心を開いてゆく窓のよう◆昭和50年代半ばの神戸の小学校。鹿島さんは「あのね帳」の詩を集めて、教室で撮った写真と合わせて「一年一組せんせいあのね」という本にした。当時も子どもたちが背負う事情はさまざま。悲しい話もあるけれど、学級には確かな結び付きが見える◆全国の公立校で今、教員が足りないという。休職者が増えて、補充も難しい。県内は昨年4月時点で5人の不足だ。そもそも教員志望の人が減った。かつて県内で2千人を超えた小中、特別支援学校の志願者は今春採用の試験で1500人を割り、倍率は小学校で3倍を下回った◆保護者からの相談、時に不満や苦情に対応し、長引く会議や教材準備…。指示される作業は増えて、労働時間は長い。心を病み休職する人は全国で5千人も。先生が疲れて子ども心の窓もよくのぞけない教室から、先生に憧れる子が出てくるだろう◆「あのね帳」で一人一人を見つめ、教師からの一方通行でない関係が成立した。鹿島さんは子どもと学び合うことを尊んだ。今春、高校を含め県内で約530人が新たに採用される。初めて教壇に立つ人もいる。「せんせいがんばれ」。あえて教職に進む人たちに敬意とエールを込めて。

1面のコラム「<sup>しゃめん</sup>斜面」を読もう

ひらがなを漢字になおして書きましょう。

斜面

2022. 2. 3

「わたしのせんせい  
いはてつぼうを/  
10かいさせます/  
せんせいは/いつ

かいもやりません」。しょうがく1ねんせいのするどいしてきにたんになだった鹿島和夫さんはくしょうしただろう。いえでしをかいせんせいにわたす「あのね帳」はこどもがこころをひらいてゆくまどのよう◆しようわ50ねんだいなかばのこうべのしょうがっこう。鹿島さんは「あのね帳」のしをあつめて、きょうしつでとったしゃしんとあわせて「一年一組せんせいあのね」というほんにした。とうじもこどもたちがせおうじじょうはさまぎま。かなしいはなしもあるけれど、がっきゅうにはたしかなおすびつきがみえる◆せんこくのこうりつこうでいま、きょういんがたりないとう。きゅうしよくしゃがふえて、ほじゅうもむずかしい。けんないはさくねん4がつじてんで5にんのふそくだ。そもそもきょういんしぼうのひとがへった。かつてけんないで2せんにんをこえたしょうちゅう、と

くべつしえんがっこうのしがんしゃはこんしゅんさいようのしけんて1500にんをわり、ばいりつはしょうがっこうで3ばいをしたまわった◆ほごしゃからのそうだん、ときにふまんやくじょうにたいおうし、ながびくかいぎやきょうざいじゅんび…。しじされるさぎょうはふえて、ろうどうじかんはながい。こころをやみきゅうしよくするひとはせんこくで5せんにんも。せんせいがかかれてこどものこころのまともよくのぞけないきょうしつから、せんせいにあこがれるこがでてくるだろうか◆「あのね帳」でひとりひとりをみつめ、きょうしからのいっぼうつうこうでないかんけいがせいりつした。鹿島さんはこどもとまなびあうことをとうとんだ。こんしゅん、こうこうをふくめけんないでやく530にんがあらたにさいようされる。はじめてきょうだんにたつひともいる。「せんせいがんばれ」。あえてきょうしよくにすすむひとたちにけいとエールをこめて。









## 1面のコラム「斜面」を読もう

### 斜面

2022.2.1

ネットの動画から目を背けたくなった。「イタイ、イヤ」。悲鳴を楽しむかのように日本人の従業員がベトナム人の男性を事務所で何度も蹴っている。トラックの荷台にいれば棒でたたく。車内でも隣から肘鉄を何度も食らわせる◆岡山市の建設会社で技能実習生が複数の日本人に暴行される場面だ。1月に

地元の山陽新聞が特報した。「ひひひ」「ははは」。動画から笑い声も聞こえてくる。撮影したという別の実習生だろうか。迎合しなければ、自分までやられると思っただのか…◆暴行は2年に及び、骨折もした。足を鋭利な工具で刺されたとも訴えている。仲介した監理団体に相談したが改善せず、市外の労組が保護した。補償と謝罪を求めて交渉中だ。「人間として扱ってもらえなかった」と同紙に話している。労組は他にも実習生を保護しているという◆「人権侵害は決してあってはならない」と古川禎久法相は言う。ならば「実習」を隠れみのにして労働力を安価に搾取すること自体が人権侵害だ。母国からの送り出しにも不正な金銭が絡み、それも本人の借金に。本紙も「五色のメビウス」で詳報した◆米国はきょうを「自由の日」とする。157年前、リンカーンが憲法に基づく奴隷廃止に署名した日だ。今なお人種差別と闘う米国。日本は「奴隷労働」と非難され、人権を守れぬ制度を今日も手放そうとしない。受け入れ先の問題にすり替えていては、やがて世界の労働者が目を背ける。

### 斜面

2022.2.3

「わたしのせんせいはてつぼうを/10かいさせます/せんせいは/いつかおもやりません」。小学1年生の鋭い指摘

に担任だった鹿島和夫さんは苦笑しただろう。家で詩を書いて先生に渡す「あのね帳」は子どもが心を開いてゆく窓のよう◆昭和50年代半ばの神戸の小学校。鹿島さんは「あのね帳」の詩を集めて、教室で撮った写真と合わせて「一年一組せんせいあのね」という本にした。当時も子どもたちが背負う事情はさまざま。悲しい話もあるけれど、学級には確かな結び付きが見える◆全国の公立校で今、教員が足りないという。休職者が増えて、補充も難しい。県内は昨年4月時点で5人の不足だ。そもそも教員志望の人が減った。かつて県内で2千人を超えた小中、特別支援学校の志願者は今春採用の試験で1500人を割り、倍率は小学校で3倍を下回った◆保護者からの相談、時に不満や苦情に対応し、長引く会議や教材準備…。指示される作業は増えて、労働時間は長い。心を病み休職する人は全国で5千人も。先生が疲れて子ども心の窓もよくのぞけない教室から、先生に憧れる子が出てくるだろう◆「あのね帳」で一人一人を見つめ、教師からの一方通行でない関係が成立した。鹿島さんは子どもと学び合うことを尊んだ。今春、高校を含め県内で約530人が新たに採用される。初めて教壇に立つ人もいる。「せんせいがんばれ」。あえて教職に進む人たちに敬意とエールを込めて。

## 1面のコラム「斜面」を読もう

ひらがなを漢字になおして書きましょう。

### 斜面

2022. 2. 3

「わたしのせんせい  
いはてつぼうを/  
10かいさせます/  
せんせいは/いつ

かいもやりません」。しょうがく1ねんせいのするどいしてきにたんになだった鹿島和夫さんはくしょうしただろう。いえでしをかいせんせいにわたす「あのね帳」はこどもがこころをひらいてゆくまどのよう◆しょうわ50ねんだいなかばのこうべのしょうがっこう。鹿島さんは「あのね帳」のしをあつめて、きょうしつでとったしゃしんとあわせて「一年一組せんせいあのね」というほんにした。とうじもこどもたちがせおうじじょうはさまさま。かなしいはなしもあるけれど、がっきゅうにはたしかなおすびつきがみえる◆せんこくのこうりつこうでいま、きょういんがたりないとう。きゅうしよくしゃがふえて、ほじゅうもむずかしい。けんないはさくねん4がつじてんで5にんのふそくだ。そもそもきょういんしぼうのひとがへった。かつてけんないで2せんにんをこえたしょうちゅう、と

くべつしえんがっこうのしがんしゃはこんしゅんさいようのしけんで1500にんをわり、ばいりつはしょうがっこうで3ばいをしたまわった◆ほごしゃからのそうだん、ときにふまんやくじょうにたいおうし、ながびくかいぎやきょうざいじゅんび…。しじされるさぎょうはふえて、ろうどうじかんはながい。こころをやみきゅうしよくするひとはせんこくで5せんにんも。せんせいがかかれてこどものこころのまどもよくのぞけないきょうしつから、せんせいにあこがれることがでくるだろうか◆「あのね帳」でひとりひとりをみつめ、きょうしからのいっぽうつうこうでないかんけいがせいりつした。鹿島さんはこどもとまなびあうことをとうとんだ。こんしゅん、こうこうをふくめけんないでやく530にんがあらたにさいようされる。はじめてきょうだんにたつひともいる。「せんせいがんばれ」。あえてきょうしよくにすすむひとたちにけいとエールをこめて。

コラム「斜面」を読んで考えを深めよう

斜面

2022.2.1

ネットの動画から目を背けたくなった。「イタイ、イヤー」。悲鳴を楽しむかのように日本人の従業員がベトナム人の男性を事務所で何度も蹴っている。トラックの荷台にいれば棒でたたく。車内でも隣から肘鉄を何度も食らわせる◆岡山市の建設会社で技能実習生が複数の日本人に暴行される場面だ。1月に地元の山陽新聞が特報した。「ひひひ」「ははは」。動画から笑い声も聞こえてくる。撮影したという別の実習生だろうか。迎合しなければ、自分までやられると思っただのか…◆暴行は2年に及び、骨折もした。足を鋭利な工具で刺されたとも訴えている。仲介した監理団体に相談したが改善せず、市外の労組が保護した。補償と謝罪を求めて交渉中だ。「人間として扱ってもらえなかった」と同紙に話している。労組は他にも実習生を保護しているという◆「人権侵害は決してあってはならない」と古川禎久法相は言う。ならば「実習」を隠れみのにして労働力を安価に搾取すること自体が人権侵害だ。母国からの送り出しにも不正な金銭が絡み、それも本人の借金に。本紙も「五色のメビウス」で詳報した◆米国はきょうを「自由の日」とする。157年前、リンカーンが憲法に基づく奴隷廃止に署名した日だ。今なお人種差別と闘う米国。日本は「奴隷労働」と非難され、人権を守れぬ制度を今日も手放そうとしない。受け入れ先の問題にすり替えていては、やがて世界の労働者が目を背ける。

① コラム「斜面」を読んで、筆者が言いたいことを簡潔に書きましよう。

② 【意見提示】 「斜面」の内容に対するあなたの意見を書きましよう。

③ 【展開】 あなたの意見の根拠を三つ書きましよう。

( )

( )

( )

伝えたい順番